



有明中だより

自信を持って一歩前進



令和6年9月2日
第5号
文責 校長 河内 秀幸

2学期のキーワード「相手意識を持つ」ということ

9月2日（月）、2学期始業式を行いました。式では、各学年代表の3名が、夏休みの反省と2学期の抱負について、自分の思いを発表しました。以下に、代表生徒の発表内容を一部抜粋・要約してお伝えします。



【1年生代表】「夏休みは、部活動と駅伝の練習を頑張りました。2学期は勉強を頑張りたいです。2学期の学習内容は1学期よりも難しくなると思うので、家庭学習をしっかりしようと思います。理科と社会が苦手なので特に頑張りたいです。部活と勉強を両立して取り組み、充実した2学期にします。」

【2年生代表】「夏休みに部活、陸上、クラブチームの練習を頑張りました。2学期は2つ頑張りたいことがあります。1つ目は学校行事への取組です。特に合唱コンクールでは全員で協力して練習をし、郡市音楽会に出場できるように頑張りたいです。2つ目は学習に力を入れることです。毎日の課題、自学はもちろん、3年生に向けて今までよりも学習量を増やす必要があります。勉強とスポーツ両方を頑張りと、文武両道で今までよりもレベルアップできるように頑張っていきたいと思います。」

【3年生代表】「夏休みに頑張ったことは、部活動、陸上、勉強です。この頑張りも含めて、2学期の目標を2つ立てました。1つ目は共通テストで目標点を取るということです。これからの授業では、これまで以上に集中して先生の話聞き、自分から積極的に学習を深めていきたいです。2つ目は陸上です。これからは知識を持って効率よく、無駄な体力を使わずに走りたいと思っています。最後に、このクラスで過ごすのも残り7か月となりました。授業や行事など、みんなの協力で素晴らしい2学期を一緒に作っていきましょう。」

このようにどの代表生徒も2学期の目標実現に向けた強い思いを語ってくれ、大変頼もしく感じました。最後に、校長式辞の一部を紹介します。

2学期は、「**相手意識を持つ**」ということを意識してほしいと思います。生きていく上で、自分の思いを伝えることは大切ですが、そこには必ず「相手」がいます。例えば、授業中、自分が考えたことを、相手に分かってもらうために、声の大きさや話す速度を考える、言葉を短くする、などの話し方の工夫や、ノートや黒板の図を指し示したり、根拠となる資料を使ったりする工夫をするなど、「**相手意識を持って、相手にとって分かりやすい説明をする**」、このことを心がけてください。

そして「**相手意識を持つ**」ことのもっと大きな意味は、毎日の生活の中で、「**相手のことを考える**」ことであると思います。具体的には、あいさつや返事を大きな声でする、「ありがとう」「ごめんなさい」を言える、困っている人がいたら声をかける、などです。

そして、身に付けてほしい3つの力「**行動する力**」「**学び続ける力**」「**認め合う力**」は、「**相手意識を持つ**」ことで、さらに高まっていきます。皆さんにとって、充実した2学期になることを願っています。

◆部活動頑張りました！

- うと地蔵祭り協賛バレー大会
【優勝】 男子バレーボール部
- 天草郡市1年生バレー大会
【準優勝】 男子バレーボール部



○9月の主な行事

- 3日 職場体験（2年） ～5日
- 12日 読み聞かせ
- 18日 基礎学力アップテスト（社）
- 25日 前期期末テスト ～27日